

# 軽防協ニュース速報 号外

2003年11月14日

軽種馬防疫協議会 事務局

(JRA 馬事部防疫課)

## アイルランドにおける馬ウイルス性動脈炎の発生について

今年の夏に民間の種馬場で馬ウイルス性動脈炎の単発例が発生した。当初は全く症状を示さなかったため、この病気の発生に気付いていなかった。この種馬場では厳しい健康管理が行われており、繋養馬に異常が認められた場合、それらは全て詳細に記録されている。この種馬場に種付けのためにやって来た繁殖牝馬に発生がみられ、3～4週間の間に1ヶ所の牧場で限局的に発生した。また、ワクチンが入手できずにワクチン未接種だった初年度供用の種牡馬もウイルスに感染していた。シャトル種牡馬として南半球へ輸出するための準備中に感染が発覚した。交配試験では、この種牡馬の精液中にウイルスは確認されなかった。この馬はすでに輸出されており、現在は正常に交配し、繁殖能力にも問題はみられない。農業食糧省の調査により、16頭の牝馬が血清学的に陽性と確認された。これらの牝馬が繋養されている牧場からは、ウイルスの垂直感染は報告されていない。この調査は現在も継続中であるが、感染源は未だ特定されていない。

この種馬場では HBLB Codes of Practice が厳しく守られている。

全ての繁殖牝馬は、交配前の検査では EVA 陰性であった。

## 2003年第2四半期、第3四半期の追加分

### オーストラリア

#### 2003年第2四半期

- NSWにおいて数頭の馬から *Streptococcus equi* が分離されたが、高熱や咽頭膿瘍などの腺疫の典型的な症状は認められなかった。1頭では下部気道の感染が認められ、気管洗浄液から *Streptococcus equi* が分離された。
- オーストラリア西部において1頭のサラブレッド種に腺疫の発生が報告されている。
- オーストラリア南部の調教施設において腺疫の発生が多数報告されている。

#### 2003年第3四半期

- 1例の馬ヘルペスウイルスによる流産が NSW により報告された。
- ヴィクトリア州では31例の流産例と1例の生存例について調査を継続中であるが、陽性例は確認されていない。
- 数ヶ所の生産牧場や調教施設において腺疫の発生が報告されている。

### トルコ

- 8月6日に1頭の非サラブレッド種で炭そが発生した。Erzurum Veterinary Control and Research Institute において菌分離により診断された。
- 9月10日にも1頭の非サラブレッド種で炭そが発生した。Konya Veterinary Control and Research Institute において菌分離により診断された。

(International Collating Centre の情報より)